



第20回

始まりから終わりまで

～動作の始めと途中と終わりを表す～

英語監修・執筆 鳥飼慎一郎

学習のポイント

- startを使って動き始めが表現できる
- keepを使って動いている最中であることが表現できる
- stop や finishを使って、動きが止まったり終わったりすることが表現できる

start を使って動き始めが表現できる

stop や finish を使って、 動きが止まったり終わったりすることが表現できる

■コミュニケーション

動きには始まりがあり、終わりがあります。始めと終わりの間はその動作が続いています。

例えば、100メートル競走を例にとりて考えてみましょう。スタートラインに立って、用意ドンで走り始めます。これが「走る」という動きの始まりです。100メートルのゴールに到達すると、「走る」という動きが終わりになります。つまり、スタートラインとゴールの間の100メートルは「走る」動きが続いています。フィリップが100メートル走に参加したとしましょう。

フィリップが走り始めます。

Philip started running. (フィリップが走り始めました)

フィリップは全速で走り続けます。

Philip kept running. (フィリップが走り続けました)

いよいよゴールです。

Philip finished running. (フィリップが走り終わりました)

もしもフィリップが途中で立ち止まったら、

Philip stopped running. (フィリップが走るのをやめた)

となります。この、start (～し始める)、keep (～し続ける)、finish (～し終える)、stop (～するのをやめる) は、を使うと、動きの最初から終わりまでの一連の動きを表すことができる便利な表現です。

■単語や表現

keep

今回学習するkeepは、「～し続ける」という意味で使っていますが、それ以外にも「ある状態に保っておく」「保管する」「守る」という意味もあり、いろいろな使い方ができる語です。

Keep your room clean and tidy. (部屋を清潔にそして整理整頓しておきなさい)

Please keep all the handouts. (渡したプリントはみんな取っておいてください)

- Don't keep the money in the drawer. (決してお金を引き出しにしまっておかないこと)
 My neighbor keeps 10 dogs. (近所の人は犬を10匹飼っています)
 We have to keep the traffic rules. (交通規則を守らねばいけません)
 I kept driving for three hours. (3時間車を運転し続けました)

pour

この語は、「液体などをほかの容器に注ぐ、飲み物などをつぐ」という意味です。お茶の入れ方を例にとって、使い方を見てみましょう。

- Put some tea leaves in the pot. (お茶の葉をポットに入れる)
Pour hot water into the pot. (熱いお湯をポットに注ぐ)
 Wait for three minutes or so. (3分ほど待つ)
Pour the tea into the teacup. (お茶をカップに注ぐ)

いかがでしょう！

Let's start enjoying afternoon tea. (昼下がりのお茶を楽しく始めましょう)

discuss

この語は、「議論する、話し合う」という意味の語です。

◀ **talk about**と同じような意味ですが、**discuss about**とは言わないので注意しましょう。

- I want to discuss our school festival. (私は学園祭について話し合いたい)
 I want to talk about child poverty. (私は子どもの貧困について話し合いたい)

ちなみに、この**discuss**という語は、ラテン語で「言葉を振って粉にする」という意味です。それほど激しく議論するということなのでしょう。

■英語のきまり

start, keep, finish, stopを使った文

以前のことを表すには、上記の語を以前のことを表す形に変えます。**ing**の付いた語はそのままです。質問や打ち消しの文では、元の形に戻します。

- Hina started making a cheese omelet. (日梨はチーズオムレツを作り始めました)
Did you finish reading the book? (本を読み終えましたか)
 Ryo did not stop asking questions. (亮は質問をするのをやめませんでした)

これからのことを表すには、**will**や**be going to**を上記の語の前に付けます。

- Naomi will start talking about her life next time.
 (直美は次回自分の人生について話し始める予定です)
 I will keep running this store. (私はこの店を経営し続けます)
 Philip is going to stop using the computer soon.
 (フィリップはコンピュータを使うのをもうすぐやめるでしょう)

単語を発音してみよう ⑤

tr

tを発音するために息を強く舌先と上の歯ぐきの間から出した瞬間に、舌を後ろに引いて発音します。かなり強い音で、出した息がチュと鋭い音を発します。

trを英語式に発音されると、チュライのように聞こえます。日本語式に発音するトライは、トの音を発音するときに息の勢いが弱いうえにオの音が入りますが、英語では息を鋭く出す乾いた音が響きわたる感じの発音になります。

treeを日本語式に発音するとツリーになりますが、英語の発音ではチュリーのように聞こえます。最初のチュを発音した後、小さくシュという音が聞こえるかもしれません。それほど出す息の勢いが強い音です。

**dr**

dの発音をした直後に、舌を後ろに引っ込めてrの発音をします。少し唇を丸めるようにして発音するとうまく発音できます。

dryの発音をカタカナ書きすれば、デュライのようになります。決して、ドライにはなりません。ドライにならないコツは、dの発音の直後に舌先を下げるのではなく、口の中に舌先を引っ張り込むようにしてrの発音に入ることです。

dreamも日本語式に発音するとドリームですが、英語はデュリームのように発音します。この語の発音も、dを発音するときに舌先を下げることなく、舌先を口の中に引っ張り込むようにして発音します。

try、tree、dry、dreamの日本語式の発音をローマ字書きすると、torai、turii、dorai、doriimuのようになります。最初のtやdの後にoやuが入っています。これが日本語式の発音の特徴です。英語式に発音するためには、このoやuを発音せずに、瞬間的にrの発音を開始することがポイントとなります。そのためには、tやdの発音の後に、舌先を下げてoやuの音を出さずに、舌先を口の中に引っ込めるようにしてrの発音を始めるのがポイントです。

